

月刊

# ENGO

6月号

2013年6月1日

カトリック大阪大司教区ENGOプロジェクト

発行責任者：松村繁彦

連絡先：TEL：090-5258-5704

(平日 18時～21時)

FAX：06-7494-9845

e-mail: engo@osaka.catholic.jp

おおふなと

## 大船渡と大阪教区と堺教会

### 1000kmの絆を結んで！

堺教会は大阪教区行事である「国際交流の日」の前日から岩手県のカトリック大船渡教会(仙台教区)の方々、ボランティアベース「いこいの家」スタッフを含めた47人を招き、共に交流し祈りの場を持ち、ENGO プロジェクトはその活動を支援しました。

5月18日(土)から大船渡の方々が来阪され、19日(日)の大阪カテドラルで行われたイベントまでの二日間を共に過ごしました。18日の交流では堺教会が主体となり、交流・観光プログラムを計画。深い交わりが持たれました。堺教会は大船渡教会と東日本大震災以降に姉妹教会となり、この二年間数々の交流がもたれて深い絆を築いてきました。今回、ENGOプロジェクトとともに、47人の大船渡教会の方々を大阪に招き、楽しく思い出に残る一時を過ごして頂こうという計画をし、実現に至ることが出来ました。



参加者はミサ前に  
大阪城見学へ



堺教会の皆さんによる大歓迎会

18日の早朝、大船渡の方々を伊丹空港で出迎え、その足で大阪なんばの繁華街や観光地を3グループに分かれて見学した後、夕方からは堺教会の信徒の皆さまによって交流会が持たれ、夜は梅田で宿泊され大阪を満

喫しました。

翌日の19日は大阪城の見学をしたのち、国際協力のミサに与るために大阪カテドラルに向かいました。ミサの中での紹介、ミサ後のフェスティバルにも参加をするというハードスケジュールでしたが、体調を崩される方は無く、その日のうちに帰路に着かれました。



イベントでは大船渡の方による歌が贈られた。

お説教中に思いを語る  
山浦さん

国際協力のミサの中で、大船渡教会の山浦玄嗣やまうらはるつくさんは、「この地域は約40年ごとに津波の被害を受けている。今回の津波は今まで以上にひどいものであったが、これは神様の何らかのメッセージなのか？もしそうであるなら、この出来事を“ようがすひぎうげだ”」と、またフィリピンの菅原マリフェさんも英語で東日本大震災によって気仙地方に起きた出来事とご自身が感じられたこととお話しされました。

また、ミサ後に行われたフェスティバルでは、大船渡教会のフィリピン人コミュニティーのみなさんによる歌と踊りを披露され、短い時間ではありましたがともに楽しく交流し、有意義な時間を過ごされました。参加者は前日からの出会いや交わり、目にしたすべ

てのものに感動し、感謝の言葉が繰り返されました。子どもたちも終始ご機嫌な中で、楽しい思い出深い旅行になったと感想を述べられました。



大船渡フィリピンコミュニティによる歌と踊り

この19日の国際協力の日には雨足が強く悪天候な一日でしたが、約2500人の国籍や宗派、地域を超えた人たちが集まり、震災で亡くなられた方や心に傷を負われた方々に対して思いを馳せ、ともに祈ることができ、改めて深い絆を結び続けることの大切さを感じた一日でもありました。

## お礼とお願い

この度、みなさまから頂きました ENGO プロジェクトへの義援金により、大船渡教会の方々を大阪に招くことができました。ここに厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

今回のイベントではみなさまからのご支援が見える形であらわすことが出来ました。これからもいろいろななかたちで大船渡を始め東北の方々と絆を深め、またその機会をもうけて行きたいと思っておりますので、引き続き ENGO プロジェクトへのご支援をお願いいたします。

## ボランティアを希望される方へ、支援制度の変更について

先月号に引き続きまして今月号でもボランティアをされる方への支援制度の変更を説明させていただきます。

震災から2年を経過し、年を追うごとに、被災地の各ボランティアベースではボランティアが減少してきました。そこで、大阪教

区 ENGO プロジェクトでは、今まで2週間以上の派遣者に対して事後報告書を提出することで交通費等の補助を、皆さまの寄付金から拠出させていただいてまいりました。今後もその姿勢は変わりませんが、2週間以上の参加は現実的に厳しいものであるとい考え、次のようにボランティアへ行く方々を支援いたします。少しでも被災地へ行くことができればと願うばかりです。4月1日から始まったこの制度を是非ご利用ください。

### ボランティア支援制度

(交通費等補助支援制度)

- 1 週間 (往復の日程を含み、  
実質作業 **5日**以上)  
条件：①事前申し込み & 面談  
②事後報告書提出  
補助： **30,000円**  
(報告書提出後振込)

- 2 週間 (往復の日程を含み、  
実質作業 **10日**以上)  
条件：①事前面談 & 面談  
②事後報告書提出  
補助： **50,000円**  
(報告書提出後振込)

\* 問合せ・申込みは ENGO プロジェクトまで  
面談・対応：ENGO プロジェクト担当司祭  
(神田神父・松村神父・春名神父)

## パネルの貸出しについて

引き続きパネルの貸し出しを行っています。学習会や祈りの会などにご利用ご希望の方はお気軽にご連絡ください。



(A3 版 28枚セット)